

特別会計 昭和54年度の総予



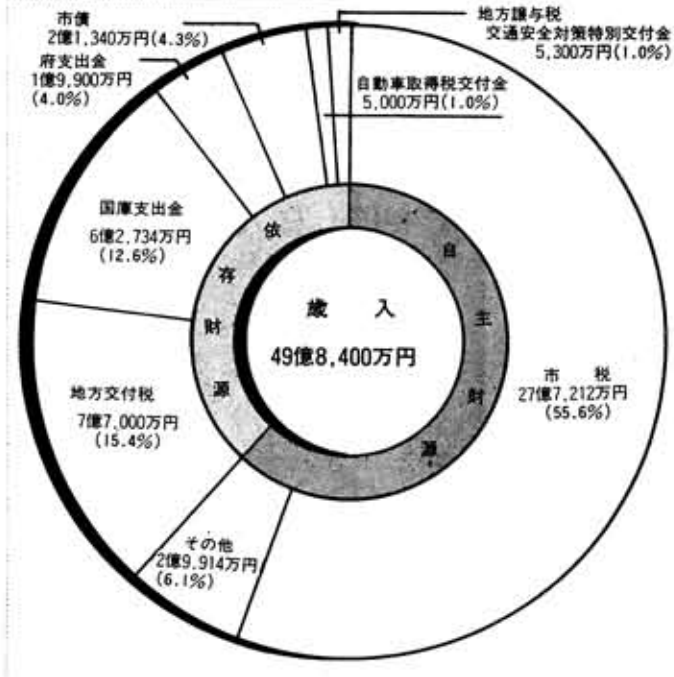
- ◇老人福祉センターの運営管理 3,075万円
- ◇70歳以上のお年寄りに敬老記念品 192万円
- ◇ねたきり老人家庭に火災警報器設置 13万円
- ◇ねたきり独居老人に家庭奉仕員（ホームヘルパー）を派遣 518万円
- ◇ねたきり老人に特殊ベッドを貸与 16万円
- ◇敬老の日記念行事を開催 81万円
- ◇独居老人障害者に福祉電話を設置 76万円
- ◇老人クラブなどに補助 159万円



- ◇70歳以上のお年寄りに市独自の年金を支給 390万円
- ◇障害者（3級以上）の方に障害者手帳を支給 扶養共済掛金の一部を補助・補装具交付修理 190万円
- ◇身体障害者に家庭奉仕員を派遣 213万円
- ◇準要保護世帯などに見舞金を支給 182万円
- ◇要保護世帯に付添看護料差額を補助 9万円



- ◇勤労者に住宅資金を融資 3,646万円
- ◇遺族会慰安会の開催 50万円
- ◇無認可保育所および入所者に補助 612万円
- ◇多子・母子・障害児世帯に補助 600万円
- ◇昼間里親に委託金を支給 436万円
- ◇保育所施設整備と保育充実 5億2,053万円

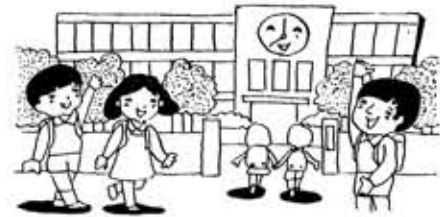


明るく豊かな

- ◇民間保育園に援助 623万円
- ◇民間保育園への委託児童措置費 2,162万円
- ◇予防接種の無料化と検診の充実（麻疹の予防接種を無料で） 2,231万円
- ◇各小学校施設の整備
- ◇第6向陽小学校（仮）
- ◇ことばきこえの教室
- ◇教材備品の充実
- ◇修学旅行・遠足に補助
- ◇私立幼稚園設備など
- ◇私立幼稚園児教材費



- ◇成人病対策の充実 543万円
- ◇母視教室・乳児検診などを充実 380万円
- ◇第4向陽小学校校舎・第5向陽小学校校舎と屋内運動場を買いとり 2億3,910万円



- ◇婦人会・子ども会など
- ◇人形劇・高齢者教室
- ◇図書室の充実
- ◇留守家庭児童会の充実
- ◇各種スポーツ教室を奨励
- ◇各種スポーツ教室を奨励
- ◇各種スポーツ教室を奨励
- ◇埋蔵文化財の発掘調査

特別三会計十九億五千五百五十万円

水道会計



水道事業の経営面では、事業収益を前年度に比べ二・五%増の三億八千三百八十五万円を組みました。このうち給水収益（水道料金）は、三億二千五百円で、八四・七%を占めています。

事業費用では、前年度より一七・二%増の四億六千四百三十三万円を組みました。

このため、本年度は八千四百八十八万円の赤字が見込まれ、年度末には繰越欠損金は二億八百七十七万円になると予測され、非常に厳しい状況です。

◆主な事業◆急速汚水処理施設（改良工事・取水井戸代替）など。

国保会計



国民健康保険事業では、前年度に比べ七・七%増の七億四千九百二十五万円を組みました。

予算総額の九四%を占める保険給付費のうち、昭和五十三年度の収支見込みにおいても、約二千八百萬円の財源不足が生じ、昭和五十四年度においても、さらに医療費の上昇が予測されるため、国保財政は非常に苦しい状態となっています。

に実施された平均九・六%の医療費の改定により増加し、国保財政の非常に大きな負担となっています。






下水道会計



下水道事業では、前年度に比べ三・八%減の五億九千七百四十四万円（このうち一億三千五百四十二万円は一般会計からの繰入金）を組みました。

このうち八二・一%を投資的経費として普通建設事業費にあてています。内訳としては、補助対象事業費二億一千二百万円、単独事業費一億四千八百五十万円、桂川右岸流域下水道負担事業費として一億三千万円となっています。

住み良いまちづくりの基幹となる本市の下水道事業も今年で六年目を迎えます。今秋には一部地域で供用開始の予定です。

 農林水産業費 1,135円 (3,820円)	 労働費 903円 (3,039円)	 衛生費 11,534円 (38,828円)	 民生費 23,252円 (78,275円)	 総務費 15,280円 (51,438円)	 議会費 2,310円 (7,810円)
 諸支出金・予備費 125円 (420円)	 公債費 9,100円 (30,832円)	 教育費 17,125円 (57,849円)	 消防費 6,283円 (21,152円)	 土木費 11,134円 (37,482円)	 商工費 977円 (3,288円)